

～小学生が社長になってぼうし屋さんの経営を体験～
第6回「マニユライフ生命 CAPS(キャップス)経営コンテスト 2011」

関東予選では、5年生6年生の混成チーム2チームが優勝！
上位3チームが、12月11日 東京開催の決勝戦で全国優勝を目指します！

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
マニユライフ生命保険株式会社
社会福祉法人中央共同募金会

第6回「マニユライフ生命CAPS経営コンテスト2011」[公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(本部:東京都品川区、代表理事 椎名武雄)主催、社会福祉法人中央共同募金会(会長 斎藤十郎)協力、マニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼CEOクレイグ・プロムリー)特別協賛]の関東地区予選が、11月6日(日)に品川の台場小学校にて開催されました。

同コンテストは、ジュニア・アチーブメントが小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラム「CAPS」をコンテスト形式で行うものです。小学4年生～6年生の子ども達だけで仮定の帽子屋さんを経営し、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費等を決め、売上げ増大をはかり、最終的には累計利益で業績を競い合います。

2006年の実施以来、参加者および関係者の皆様から高い評価をいただけてまいりました同コンテストは、回を重ね今年で6回目を迎えました。関東・東海・関西・九州に加えて今年は新たに北海道においても地区予選が開催され、子供たちが、わくわく、楽しく体験的に学ぶ機会を広げています。

今回の関東予選には計57名の児童が参加し15チーム、2マーケットに分かれ競い合いました。初対面のチームメンバーに初めはとまどいながらも話し合いを繰り返す中ですぐに仲良くなり、大人顔負けの意見交換も見受けられるレベルの高いコンテストが展開されました。接戦の末、最も好業績をあげた、5年生2名と6年生2名の混成チーム(チーム名:TKNA2011)と、同じく5年生2名と6年生2名の混成チーム(チーム名:ABCAP)がそれぞれのマーケットで見事優勝を飾りました。

優勝した2チームと、各マーケット2位のうち最終業績の高かった1チーム(チーム名:CHAMPION)の計3チームが関東地区代表として、北海道地区予選、東海地区予選、関西地区予選、九州予選の各勝者と共に、12月11日(日)に東京調布(マニユライフ生命本社)で開催される決勝戦に臨みます。

優勝した各チームはいずれも、「チームが仲良くなるのが早くて、意見交換をしっかりとすることができた。」と優勝の勝因を話してくれました。過去2年、関東地区予選で優勝し、決勝戦に進出するも優勝を逃してきたTKNA2011の6年生2人は、「地区予選で3連覇できて良かった。今年こそは決勝戦で絶対に優勝したい。」と熱いまなざしで意気込みを語ってくれました。



話し合いに熱が入る子ども達



参加した全15チーム57名



アジアマーケットで優勝した TKNA2011 チーム



ヨーロッパマーケットで優勝した ABCAP チーム

「マニユライフ生命 CAPS 経営コンテスト 2011」概要

- ◆主催およびプログラム提供／公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
- ◆特別協賛／マニユライフ生命保険株式会社
- ◆協力／社会福祉法人中央共同募金会

- ◆スケジュール

九州地区予選	2011年10月23日(日)	10:30~15:30
北海道地区予選	2011年10月30日(日)	同上
関東地区予選	2011年11月06日(日)	同上
東海地区予選	2011年11月19日(土)	同上
関西地区予選	2011年11月20日(日)	同上



各地区予選上位のチームは、東京開催の決勝戦にご参加いただきます

決勝戦 2011年12月11日(日) 10:00~14:30 (予定)

◆場所

九州地区予選会場	富士ゼロックス福岡株式会社：博多区博多駅前1-6-16西鉄博多駅前ビル2階
北海道地区予選会場	立命館慶祥中学校高等学校：江別市西野幌640-1
関東地区予選会場	品川区立台場小学校：品川区東品川1-8-30
東海地区予選会場	愛知県産業労働センター：名古屋市中村区名駅4-4-38
関西地区予選会場	大阪府社会福祉指導センター：大阪府中央区中寺1-1-54
決勝戦会場	マニユライフ生命保険株式会社本社(予定)：調布市国領町4-34-1

◆参加資格および募集人数

小学校4~6年生の男女。お友達と2人、ペアを組んで申込み。(同じ学校でも違う学校のお友達同士でも可)
定員：関西・関東地区各64名(32ペア)九州・東海・北海道地区各32名(16ペア)

◆対戦方法

地区予選当日、くじ引きで2ペアを組み合わせて4名から成る1チームを編成。対戦はチーム対チームで行ない、決勝戦に進出した場合は予選時のチームでそのまま参加。地区予選では、午前中プログラムの説明会を実施し、午後からコンテスト形式になりますので、初めてCAPSを体験する方でもご参加いただけます。

◆地区予選アワード(チームメンバー全員に進呈)

優勝チーム：3,000円&下記決勝戦にご招待、準優勝2,000円、3位図書券1,000円
参加賞：修了証と記念品

◆決勝戦アワード(チームメンバー全員に進呈)

決勝戦優勝チーム：表彰状と図書カード10,000円分、準優勝表彰状と図書カード5,000円分、3位表彰状と図書カード2,000円分、4~8位表彰状と図書カード1,000円分

◆参加費

無料。決勝戦につきましては、参加児童とお付添い(児童1名につき大人1名まで)の自宅⇄会場交通費、北海道・東海・関西・九州予選から来られる方の決勝戦前日12月10日の宿泊場所は当方でご用意いたします。地区予選の交通費は自己負担となりますが、お付添いの方を含めて昼食をご用意いたします。

◆参加申込方法

下記事項を記入の上、EメールもしくはFAXにてお送りください。
先着順に受付いたします。定員に達した時点で締め切りますので、お早めにお申し込みください。

1. 児童2名それぞれの氏名、ふりがな、学校名、学年、性別、担任の先生の氏名
2. 児童2名それぞれの保護者氏名、ふりがな、児童との続柄、自宅郵便番号・住所、電話番号、Eメールアドレス（お持ちであれば）
3. 参加希望の予選地区名
4. 予選当日付き添われる大人のお名前、ふりがな（2と同じであればその旨記載して下さい）
5. 本コンテストを何で知ったか

※上記個人情報は、本コンテスト運営に関わる連絡以外には使用せず、児童本人と保護者の方の承諾無しに外部に開示することはありません。

◆応募締切り

九州地区予選締切：2011年10月14日（金）
北海道地区予選締切：2011年10月21日（金）
関東地区予選締切：2011年10月28日（金）
東海地区予選締切：2011年11月11日（金）
関西地区予選締切：2011年11月11日（金）

※定員に達した場合は上記の前でも締め切る場合があります。

<ご参考>

ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。

社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適應できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界21カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェンต์および販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2011年9月30日現在4,920億カナダドル（4,730億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニユライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）

中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。